
第2回 楓せんせいのてつがくカフェへのお誘い

12月20日に理数科1年生が受講した「楓せんせいのてつがくカフェ」から学んだことを共有します。

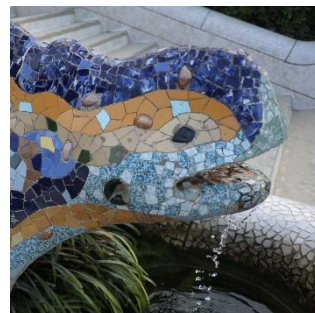
第2回となる次回は、2月18日（金）15:45～17:30。

哲学問題を一緒に考える体験をしたいと計画しています。希望者は申し込みをお願いします。

どうぞお楽しみに！

一番の学びは何でしたか？～楓せんせいのてつがくカフェから学んだこと～

- ・僕も大学は海外の大学にしようか迷っていましたが、今回の講話で決断が出来ました。
- ・自分は、留学や知らない場所に行くことに消極的でした。失敗するのが怖かったり、自分の力が及ばないかなど、心配なことが多かったからです。でも今回話を聞いて、自分がやりたいことのためならそんなことにかまてられないなと思いました。これからは思い切りを大切にします。
- ・身の回りにも同じようなことを考えている人がいるということを今回知ることができたので、ワクワクしたし哲学ってすごいと思いました。これから先の自分の人生に哲学という新たな選択肢を持って生きていこうと思います。
- ・そもそも結構哲学に関しては興味があってこの話のなかの哲学の話題をめちゃくちゃ楽しみにしてました。期待通りどの話も聞いていて楽しかったし、「こんな考え方もあるんだ！」とハッとさせられるものもたくさんでした。僕自身ネットで「大学の数学は哲学になる」というのを読んだことがあって、なんとなく分かったつもりでいたんですけど、今回の話でそれと似たような話があって「こういうことか！」と思いました。
- ・私は言語が苦手な傾向にあるので難しくわからない話なのかなと思ったら哲学にも数字を用いることがあってソクラテスの話は私もきいたことがあり好きな話だったので思っていたより楽しくて好きな分野なのかなとおもいました。今回のことで、大学で哲学を受けてみたいとおもうようになりました。他にも色々な分野を知って将来を広げていきたいと思います。
- ・自分と他人の感性の違いを改めて知ることができ、思考の多様性が十分に理解できました。
- ・私の今日一番の学びは、『学び』の捉え方です。
- ・今回の一番の学びは論理数理学についてです。
- ・話を聞いていると意外と哲学は面白いかもしれないと感じました。
論理数理学で文系は数学を勉強しないといけないうのはとても納得しました。
- ・特に印象に残ったのは、多言語を習得するメリットです。
自分にあう、自分が好きなものを探求していくことが大切だと思いました。
- ・1つ目は、「哲学は色々な教科とリンクしている」ということ。2つ目は、楓先生のようにするには半ば無謀とも言えるくらいの挑戦だとしても絶対にやり通すだけの情熱を持てるようになってほしいということ。3つ目は常に自分のレベルに満足すること無く、上の上に目指していくことが頑張り続けることのできるのだということ。
- ・日本と海外の違いと哲学的な視点のお話です。日本とスペイン、イタリアの民族感の違いから哲学的考え方の違いまで発展するのがとても面白かったです。また、この考え方の違いから、経済、生活まで変わってくるのもまた興味深かったです。
- ・質問に躊躇しない考え方。自分が他の人の時間を妨害するという考え方がない、といった文化の違いを学ぶことができた。
- ・日本だけに拘らず、世界といったグローバルな幅広い視野を持つことが大事だなと思いました。哲学を学ばないとしても、海外との交流があれば様々な意見を収集することができるし、知見を深めることもできやすいなと思いました。
- ・今回の講話を聞いて、私も英語と日本語の他に、何か別の言語を習得したいと考えるようになりました。まだはっきりと明確なイメージは描けませんが、ゆっくりとそのイメージを形付けられたらと思います。この度は、本当にありがとうございました。



次回は・・・ 哲学の問題を一緒に考える

楓せんせいと一緒に対話ができるよう、輪になって（楓せんせいは画面ですが）楽しみます。

【“メアリー”の部屋”について、色の認識が今の社会生活にどんな影響を与えてきたのか、色に対する認識と、色そのものの価値について考えてみたいです。】という希望もありました。